

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email: jcpncc@cc-net.or.jp
No. 2013

田中 ひさ子
国松町10-36
☎823-1714

寺本 とも子
豊里町38-1-105
☎829-9424

中林 かずえ
宝町4-33
☎839-2289

中谷 光夫
高宮2-19-5
☎823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
☎821-7427

『市民本位の寝屋川民主市政をつくる会』

市長候補に長野くに子さん



希望のもてる寝屋川に 市長がかわればくらしがかわる

二月二十六日、「市民本位の寝屋川民主市政をつくる会」の代表委員、長野くに子さんが、寝屋川市長選挙に立候補を表明し、決意と公約を語りました。

寝屋川市ではすでに民間の廃プラ処理施設が昨年四月から本格操業する中、悪臭や健康被害が出ています。

市はその上に、四市と共同の廃プラスチック処理施設建設計画をすすめています。

また、寝屋川市駅・香里園駅前の二つの再開発、寝屋南土地区画整理事業など大規模開発で百十九億円も負担しようとしています。

長野くに子さんの公約

- ①国保料・介護保険料の値下げ、子ども・障害者・お年寄りなどを大切に市政
- ②大規模開発や同和行政のむだ遣いをなくし、福祉・教育・環境・防災を重視する市政
- ③歴史や文化遺産、寝屋川を生かす。廃プラスチック処理施設などの公害に苦しむ住民の要求にこたえ解決に全力
- ④市民の声が届く、憲法を生かす市政

市民の声をきき 住みつづけたいまちへ

長野さんは「廃プラ処理施設の悪臭に苦しんでいる市民の声を現市長は聞こうともしません。また、廃プラだけではなく、「小学校をつぶさないで」「あやめ保育所の民営化をしないで」という声に

と表明しました。

また、市の人口が減少していることにもふれ、「緑はどんどんなくなり、福祉も後退し、子育て困難なまち、魅力のないまちになっていくからではないか。若い人やお年寄りが希望の持てる寝屋川にしたい」と述べました。

視界

国民健康保険の資格証明書は、病院の窓口で、一旦医療費の全額を患者が支払わなければならない。その結果、経済的困窮から保険料を払えない人が病院に行くのを我慢した末、手遅れで死亡する不幸な事態が全国であいついでいます▼国民健康保険料(税)を払えない滞納世帯が、全国で四百八十五万五千五百八十二世帯。一年以上滞納して保険証をとりあげられ、資格証明書が発行された世帯は、三十五万二千七百七十世帯にのぼることが二十二日、厚生労働省の調査結果でわかりました▼自営業者やフリーター、無職の人などが加入する国民健康保険。滞納世帯が〇五年より約十萬四千世帯増え、国保に加入している全世帯の十九%を占め、「資格証明書」の発行は、約三萬二千世帯増となつていきます▼重大なのは、滞納世帯と資格書発行世帯が同時並行で増えていることです。これは、「資格証明書の発行が保険料支払いの向上に役立つ」という政府の言い分が、まったく成り立たないことを示しています▼寝屋川市での資格書の発行は、一九九二年(〇六年決算資料)にのぼり、この発行数は大阪府下でトップクラスの発行率になっています▼本来命を守るべき皆保険制度。所得の格差が「命の格差」につながる政治を一刻も早くあらためなければなりません。

プロフィール

1943年中国東北部大連生まれ
奈良女子大学理学部数学科卒
東大阪高校、府立南寝屋川高校に勤務
府立高校教職員組合婦人部長
日本共産党大阪府委員会女性児童部長
現職：市民本位の寝屋川民主市政をつくる会代表委員